

とよま 森林組合だより

発行 平成28年2月26日
登米町日根牛小池100 登米町森林組合
TEL 52-2075
FAX 52-2876

ご挨拶



代表理事組合長
芳賀 稔

平成27年度は気候変動に伴う大規模災害が発生し、地球温暖化の防止等の森林の多面的機能の維持・発揮がいつそう求められている中にも、依然として木材価格は低迷を続け、森林・林業の現状は厳しい状況にあります。

各事業部門においては、施業集約化による間伐を主体とした積極的な運営を行い、素材生産量は6,218mの実績となりました。また震災直後から林業分野の強みを活かした様々な復興支援事業を行ってまいりましたが、当組合が事務局を務めた木造災害公営住宅建設推進協議会では、昨年1月に全ての災害公営住宅に入居が完了いたしました。さらに、登米市産ナラ材を活用した学童机が市内の全小中学校に設置される事となり、新たな事業としての成長が見込まれます。

このように震災復興に尽力しながらも新たな木材需要の拡大と地域森林整備を積極的に行った結果、当期剰余金を計上する事ができました。今後も中長期的な視点に立った事業運営による森林・林業の活性化をとおして地域社会に貢献し、組合員皆様の期待に応えてまいります。

県産業功労表彰

空師・末永さんが表彰されました



当組合で42年の長きに亘り務めておられ、現在も専門指導員として若手の育成にあたる末永重信さんが宮城県産業功労者として表彰されました。



末永さんは、その優れた技術を極めた他の模範となっており、達人として平成20年度に国土緑化推進機構から「全国森の名手・名人」に認定され「空師」の称号も得ています。

組合員資格について

本組合の組合員資格には「正組合員」と「准組合員」があります。正組合員のうち複数人で出資口数を有する方には、持分に応じた分割登録や、准組合員への移行の検討をお願いしております。

詳しくは該当する正組合員様に直接ご連絡・ご説明を致します。

登米市産ナラ材を使用した学童机

登米市内の全小中学校に設置予定

登米町の森林の約3割は広葉樹林です。この広葉樹林では近年害虫によるナラ枯れ被害が拡大しつつあります。さらに東日本大震災に伴う放射能問題で樹皮が汚染されてしまい、ナラはしいたけ原木として使えなくなっていました。このような背景から、広葉樹林の再生が急務となっています。

そこで市内の家具製作会社と自治体の協力を頂き、ナラを活用した学童用机を開発しました。



登米中学校への設置状況



この机は学童用机の天板をコナラ材で作したもので、簡単に交換ができ、メンテナンス性が高いことが特徴です。登米市では今後4年間で市内の全小中学校にこの学童用机が設置される計画になっています。

原木露地栽培椎茸 震災後初出荷

宮城県で最初に国の出荷制限指示が解除された登米市の初出荷を祝う式典が、昨年3月に東和町で開催されました。式典には仙台圏の消費者の方々の他、登米市長、市議会議員にもご出席を頂き、安全に配慮した生産状況を確認しながら、美味しい原木しいたけをご賞味頂き、初出荷を共に祝いました。



震災復興対応

東日本大震災から5年をまです。当組合では震災直後から林業分野の強みを活かした様々な復興支援事業を行ってまいりました。

避難所での間仕切りや荷物置き場の確保の為に、緑の募金を活用して組立家具キット組手什を寄贈しました。また地域林業建設団体と共に、宮城県で唯一の地域雇用・地域材活用による応急仮設住宅を南三陸町に建設し、その成果が認められて、登米市での災害公営住宅の建設につながりました。さらに被災した名取市の図書館の新築にあわせて組手什による書架を設置しました。

登米森林公園で健康づくり

当組合では平成23年から、登米市、東北文化学園大学と協同で、登米森林公園に隣接する「森林セラピーロード」での『とよま元氣もり講座』を実施しています。65歳以上の登米地区の方々を対象です。いつまでも足腰を丈夫に、そして元氣な体作りをしてみませんか？ 参加申込等は、登米総合支所市民課まで。



木造災害公営住宅（登米市）



木造応急仮設住宅（南三陸町）



被災図書館への組手什書架設置

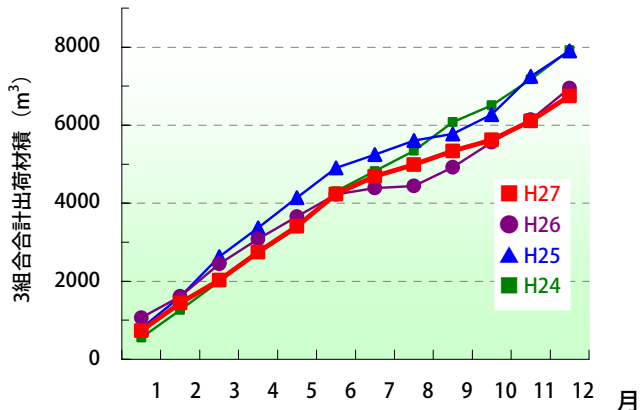


避難所への組手什の寄贈

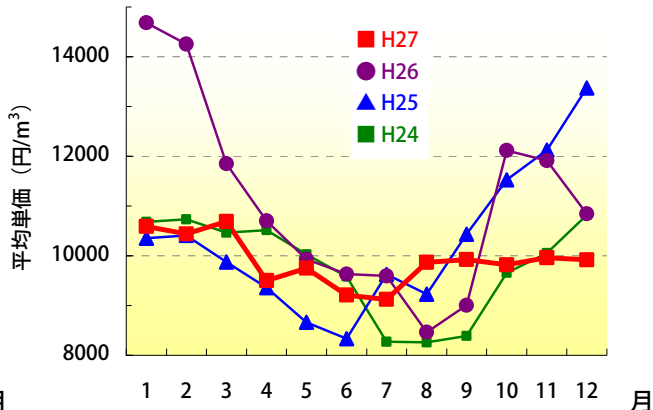
木材市況

復興需要等から上昇傾向にあった木材価格は景気停滞もあり、前年を下回りました。このような中でも3組合の共同運営による津山木材センターを積極的に活用して販路の確保と販売に努めています。

● 津山木材センターの出荷材積(積算) ●



● 津山木材センターの価格推移 ●



森林整備事業・間伐推進室

助成制度を活用して
間伐を進めましょう！

当該地域の森林は、保育の段階から収入間伐の段階を迎えており、また、森林の有する公益的機能の発揮に対する期待が一層高まっていることから、これらに対応した森林整備を推進することが求められています。当組合は、各種補助金を利用して、長伐期森林施業確立の為に収入間伐や複層林化、針広混交林、広葉樹林化等多様な森林への誘導の為に施業を効率的かつ効果的に促進し、多様な健全な『美しい森林』を次代に引き継ぐ施業を推進しています。



ハーベスタ



バックホウ



フォワーダ

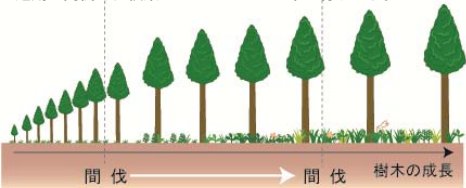


間伐前

間伐後

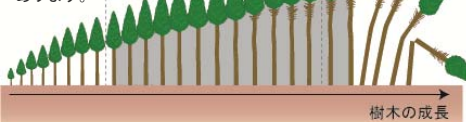
間伐すると...

適期の間伐で、枝葉がしっかりとした木が育ちます。



間伐しないと...

間伐をしないと、風雪害を受けやすくなり、時には破滅的な被害を受けることもあります。



● 各種助成制度 (平成27年度) ●

事業種	およその補助額(1ha当り)
造林	889,000 円
下刈	138,000 円
間伐	180,000 円 ~ 550,000 円
作業道	1m当り 560 円 ~ 2,000 円

組合員皆様の森林を、大切な財産として活かすためにも、間伐を行いましょ。

特用林産

ギフトのご案内

登米市の名産品を詰め合わせたギフト等を販売しております。法事用、お中元、お歳暮、家庭用にご利用ください。

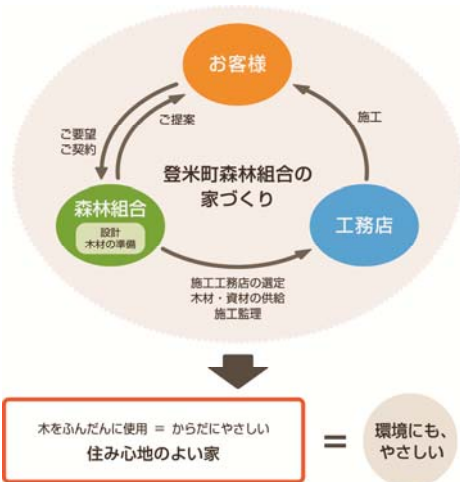


原木露地栽培椎茸の出荷制限が解除となりましたが、安定的な生産が出来るまでの間は、他県産椎茸を仕入れ、各種加工食品に利用する事としております。



木材利用開発

心やすらぐ木の住まい



登米町森林組合では、良質な登米産木材をふんだんに利用した家づくりを行っております。木をふんだんに使った家を建てたいのだけれども、誰に頼めばよいのかわからない。そのような時には、お気軽にご相談ください。また登米市では、木造在来工法による住宅新築の際、1戸あたり延べ床面積にに応じて最大50万円を助成する「地域材需要拡大支援事業」が実施されています。

